

政策2 教育・文化 ～健やかで豊かな心が育つ～

◆「モンデキャンせ長浜」 長浜温故知新プロジェクト

116万円

若者の郷土愛の醸成や「ふるさと回帰」を目的に、長浜の近代化に尽くした人物やまちづくりの歴史など、若者向けに説明した冊子「長浜の企業人列伝」を作成しました。冊子は市内の全高校3年生に配布し、ホームページでも公開しています。



◆長浜伊香ツイーナアリーナ整備事業 19億2,384万円

国民スポーツ大会をはじめとする全国規模の大会が開催できる2つのアリーナ、最新機器を備えたトレーニングルーム、ボルダリングを楽しめるキッズスペースなど、地域スポーツの振興はもちろん、あらゆる世代の人々が集うことのできるスポーツ施設が完成しました。



◆地域子育て支援センター 運営事業

5,971万円

「こどもらんど」子育て支援センターのさらなる機能と魅力の向上を図るため、浅井文化スポーツ公園にある農村環境改善センターを改修、移転しました。



◆「未来をになう長浜っ子」 育成プロジェクト

16万円

若手中堅教員で構成する「ワーキング会議」と市内の様々な分野で活躍する人たちが構成する「懇話会」を設置し、新しい長浜の教育の実現に向けた取組みについて、幅広い視点から意見交換を重ねました。



◆運動あそび推進事業

632万円

全園の教育・保育活動に、体を使った遊びを積極的に取り入れた保育を行いました。また、運動あそびを推進する人材の育成に努め、家庭における親子ふれあい遊びを啓発するなど、本市の特色のある保育としての定着を図っています。



◆虎姫地域小中一貫教育校開設準備および杉野小・中学校と木之本小・中学校との統合準備 2億5,244万円

虎姫学園の開校に向けて新しい学校に必要な環境整備に着手し、小中一貫教育校開校連絡会が中心となり校歌を作成しました。また、杉野地域での統合に係る協議会を経て、本年4月に新しい木之本小学校・木之本中学校が開校しました。



◆長浜図書館新築移転関連 事業

6,519万円

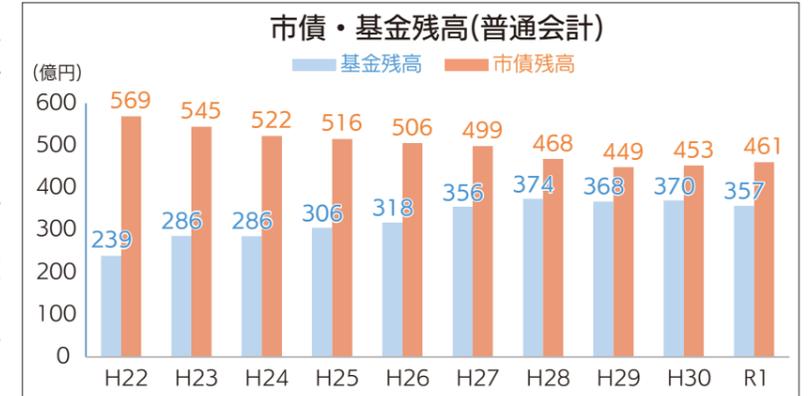
「地域と人がつながる知の拠点」として市立図書館を整備するため、長浜図書館を新築移転し、市内図書館間の資料配送の強化やICTタグを活用した図書館資料管理システムの導入を行いました。



健全な財政運営と今後の課題

令和元年度末の本市の市債(借金)残高は、大型建設事業など投資的経費の増加により2年連続で増加していますが、計画的に繰り上げて償還(返済)することで、財政計画に掲げる金額を下回るなど、健全な財政運営を維持しました。

財政の健全性の指標とされている健全化判断比率(借金返済や借入額が多すぎないかなど)等の基準をクリアしており、令和元年度決算は健全な財政運営ができているといえます。しかし、人件費や社会保障経費などの義務的経費が増加傾向にあり、また新型コロナウイルス感染症への対策経費の増加が見込まれるため、今後さらに公債費の抑制が必要です。今後も引き続き計画的な繰上償還の実施により公債費負担軽減と市債残高の縮小に努め、財政の健全化を図ります。



▲ここ10年間で、計画的な財政運営により市債残高は縮小し、基金残高は増加しています。

令和元年度はこんなことに取り組みました

政策1 市民・自治 ～市民とともに創る～

◆首都圏との連携推進

578万円

首都圏における長浜応援チーム「東京-長浜リレーションズ」を通じて、長浜の情報発信や課題解決の提案、体験ツアーの造成を行いました。また、東京・上野の「びわ湖長浜KANNON HOUSE」や台東区でのイベント出店などを活用して長浜をPRし、長浜では「お江戸上野・浅草まつり」を開催しました。



◆アウグスブルク市姉妹都市提携 60周年記念事業

615万円

ドイツ・アウグスブルク市との姉妹都市提携60周年を記念し、市民・行政使節団のアウグスブルク市への派遣や、Instagramによる写真交流など様々な周年事業を行い、交流を深めました。



◆市民課証明書作成等業務委託事業

686万円

市民課が交付する住民票・戸籍等の証明書作成や郵送請求処理などの業務委託を令和2年2月から開始しました。専門的能力を持つ民間事業者に委託することで、民間のノウハウを活かした質の高い行政サービスを効果的・効率的・安定的に提供しています。



◆令和元年度の財産収入

前年度比4億4,120万円増

財産収入とは、市が有する財産の貸付けや売り払い等により得た現金収入のことです。

令和元年度は、旧長浜市民会館用地の売却等、公有財産の効果的な運用を図ったことにより、前年度比104.2%になりました。

